

山梨の土地改良

VOL.

164

2016.6



第9回やまなし農村風景写真コンクール審査委員長賞 内藤均氏「雨上がりの朝」

CONTENTS

第58回通常総会および
第57回土地改良功労者表彰式——3

ごあいさつ 水土里ネットやまなし会長・白倉政司——1
平成28年度を迎えて 山梨県農政部長・大熊規義——2
農業農村整備事業の施策展開（重点的な推進）——5
平成28年度人事——7
全国土地改良事業団体連合会 第58回通常総会——8
全国水土里ネット表彰式——9

ごあいさつ

水土里ネットやまなし会長 白倉 政司



日頃から農業・農村整備事業の推進と本会の業務運営につきましては、会員の皆様をはじめ、関係機関から格別のご支援、ご指導を賜り厚く御礼申し上げます。

4月に発生しました熊本県を中心とする一連の地震により、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。被災地の日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

また、昨年は本県出身の大村智北里大学特別名誉教授が、ノーベル医学・生理学賞を受賞されました。抗寄生虫薬「イベルメクチン」の開発で毎年3億人もの熱帯地域の人々を感染症の脅威から守っていることは、県内だけでなく国内外でも大きな話題となりました。

平成28年度の農業農村整備事業関係予算は平成27年度補正990億円と併せて4,810億円の予算となりました。しかしながら、地方の声を満足させる金額には程遠い感があり、更なる追加予算が望まれます。山梨県の平成28年度農業農村整備関係予算は、75億円と聞いております。2月補正予算21億円と併せて96億円の予算となっております。早期の執行が望まれます。

今、「食糧・エネルギー・環境・水」の四つは、地球の赤信号になると言われています。これらは今後注目されるでしょう。農業農村整備事業はこの四つの課題に対して大きな役割を担うものであり、ふるさと山梨にとっては潜在力であることから、様々

な資源を有効活用できるよう取り組んでおります。本県は首都圏に近い立地条件を活かし、果樹を中心とした生産性の高い農業が展開されており、その景観は観光立県の一役を担っております。

しかし農業・農村を取り巻く情勢は、農業の担い手不足、高齢化、耕作放棄地の増加など非常に厳しい状況下にあります。更に、ため池を含む農業水利施設などの老朽化も深刻であり、我々の生命と財産を守るためにも、農村地域の防災・減災が喫緊の課題となっている中、本会では、会員の皆様の行う土地改良事業に関する技術的指導および援助はもとより、農地中間管理事業や多面的機能支払交付金等の各種施策の推進にも貢献していき、県、市町村、土地改良区と一丸となり農業・農村整備事業を展開し「力強い農業農村づくり」をしていきたいと考えております。

さらに、「水土里情報システム」を活用した新たな取り組みとして、「3D空間設計・解析システム」を導入し、今までの平面的視点に加えて、立体的な視点から、土地の形状や高さ、周辺との接続状況、鳥瞰図などを確認できるようになりました。ぜひ、会員の皆様におかれましては、これからの各種「基本構想づくり」にご利用いただきたいと考えております。

今後とも、会員の皆様のお役に立てるよう、役職員一丸となって取り組んでいく所存でございますので、なお一層のご指導、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成28年度を迎えて

山梨県農政部長 大熊 規義



吹く風に初夏のすがすがしさを感じる季節になりました。

山梨県土地改良事業団体連合会の皆様方には、日頃から県政推進にあたって深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

新年度早々の4月14日、16日の二度にわたり最大震度7を記録する大地震が熊本県を中心とする九州地方で発生しました。

この地震で尊い命を亡くされた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、県では昨年、新たな県政運営の指針となる「ダイナミックやまなし総合計画」の農業部門の計画として「新・やまなし農業大綱」を策定いたしました。

この大綱では、将来にわたって、山梨の農業が地域の魅力を発信し続け、地域経済の牽引役となるよう、「地域の魅力の原動力『やまなし農業』」を目指すべき姿とし、「高品質化・販路開拓による儲かる農業の展開」と「活気に満ちあふれた農山村の創造」という2つの大きな目標のもと、各種施策を着実にスピーディーに進めていくこととしています。

また、先般、後藤知事との意見交換に基づき、本年度、県が重点的に取り組む項目を「ダイナミック・アクション」として公表しました。

この「ダイナミック・アクション」において農政部では、「県産農産物の需要・販路の拡大」、「新規就農を加速させる担い手対策の推進」、「農業の6次

産業化と農村の活性化の推進」などの5つの項目を盛り込み、職員一丸となって重点的に取り組むこととしました。

これらを進める上で、農地・農業用水等の土地改良施設の整備は、必要不可欠かつ重要な役割を担うものであり、農地中間管理機構と連携した担い手への農地集積の促進や本県農業の基幹となる果樹産地等における再編整備などの農業農村整備事業を積極的に推進いたします。

また、前述の熊本地震においては多くの家屋の倒壊やライフラインの寸断など甚大な被害が発生するとともに、農業関係にも多くの被害をもたらしました。このことを教訓に、農道橋やため池等の農業用施設の長寿命化・耐震化など、農村地域の事前防災・減災対策を進めるための施設整備に取り組みます。農業・農村を取り巻く環境は引き続き厳しい状況ではありますが、効果的・効率的な施策の推進に努めて参りますので、今後とも県政推進へご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、山梨県土地改良事業団体連合会の益々のご発展と、会員の皆様の一層のご健勝、ご活躍を祈念し、挨拶とさせていただきます。



白倉会長挨拶

第58回通常総会

水土里ネットやまなしは去る3月29日（火）午後1時30分よりセレス甲府において、第58回通常総会並びに第57回土地改良功労者表彰式を行いました。

水土里ネットやまなし白倉会長の挨拶の後、山梨県後藤知事、県議会石井議長、関東農政局石田局長、全国土地改良事業団体連合会会長会議進藤顧問、中谷衆議院議員をはじめ関係者多くの出席の中、土地改良事業功労者表彰式が行われ、多年にわたり土地改良事業に貢献していただいた市町村職員5名の方々に表彰状及び記念品が贈呈されました。

また、県職員として土地改良事業の推進にご尽力いただいた3名の方々、本会に永年勤続され本年度

をもって退職される2名の方に感謝状及び記念品が贈呈されました。

続いて、後藤知事、石井議長、石田局長、中谷議員より来賓の挨拶を頂きました。また、進藤顧問より農業農村整備事業の重要性、予算確保ができないため事業実施が6割程度しかできていない現状であること、更に農業農村整備事業を行う技術者の技術向上の必要性などについて挨拶を頂きました。

表彰式終了後、塩川土地改良区藤森理事長を議長に選任し、両村堰土地改良区馬場理事長及び御勅使川右岸土地改良区芦沢理事長を議事録署名人、書記に本会職員2名を任命し議事に入りました。

議事は、平成26年度事業報告・収入支出決算関



後藤斎知事来賓挨拶



進藤顧問来賓挨拶

連、平成27年度補正予算、平成28年度事業計画・収入支出予算等8議案が審議され、いずれの議案も満場一致で可決承認されました。また第9号議案として役員の欠員（1名）に伴う補欠選任が行われ5名による詮衡委員会で推薦された韮崎市内藤市長を、役員（理事）とすることが全会一致で承認されました。

提出議案

- 第1号議案 平成26年度事業報告・収入支出決算並びに財産目録の承認について
- 第2号議案 平成27年度収入支出補正予算について
- 第3号議案 平成28年度事業計画について
- 第4号議案 会費の賦課徴収方法並びに受託料算定基準について
- 第5号議案 平成28年度役員報酬について
- 第6号議案 平成28年度収入支出予算について
- 第7号議案 一時借入金の限度額並びに借入方法について
- 第8号議案 積立金の預入先について
- 第9号議案 役員の補欠選任について

第57回土地改良功労者表彰並びに感謝状贈呈

■団体の部（本年度該当無し）

■個人の部（順序不同）

- | | | | |
|-------|------------|------------|-----|
| 河野照雄 | 中央市役所 | 農政課 | 課長 |
| 日原美希彦 | 甲州市役所 | 農林土木課 | 主幹 |
| 久保田幸江 | 笛吹川沿岸土地改良区 | 管理課 | 副主査 |
| 遠藤庄一 | 身延町役場 | 下部支所長 | |
| 諏訪本栄 | 道志村役場 | ふるさと創生推進室長 | |



表彰式

■感謝状贈呈者（山梨県農政部）

- | | | |
|------|------------|-------|
| 伏見 勝 | 農政部農村振興課 | 課長 |
| 山崎剣介 | 出納局工事検査課 | 工事検査監 |
| 水地英之 | 中北地域県民センター | 工事検査幹 |

■感謝状贈呈者（土地改良連合会職員）

- | | | |
|------|--------|------|
| 宮川三男 | 事業部 | 第二部長 |
| 根岸利文 | 事業部事業課 | 推進幹 |

新役員のご紹介

第58回通常総会において、役員1名の欠員に伴い理事1名の補欠選任が行われ、韮崎市長内藤久夫氏が選任されました。

平成28年4月1日（任期1年）



韮崎市長
理事

内藤 久夫（新任）

農業農村整備事業の施策展開

(重点的な推進)

国の農業農村整備の重点事項

- 1 強い農林水産業のための基盤づくり
(競争力強化・国土強靱化)
- 2 担い手への農地集積・集約化等による構造改革の推進
(農地中間管理機構による農地集積・集約化)
- 3 日本食・食文化の魅力発信と輸出促進
- 4 人口減少社会における農山漁村の活性化
(日本型直接支払・都市と農村の共生、対流)

1 競争力を高める基盤整備の推進

県産農産物の高品質化や生産性の向上、経営の安定化を図るため、ほ場整備等の農業生産基盤整備を推進するとともに、担い手のニーズに合った基盤整備等を推進します。

<主な実施事業>

畑地帯総合整備事業
経営体育成基盤整備事業
中山間地域総合整備事業
農地環境整備事業
基盤整備促進事業 等



2 中心経営体への農地集積に向けた基盤整備の推進

農地の有効活用と担い手への農地の集積・集約化や耕作放棄地の解消を加速するため農地中間管理機構と連携し、農地集積・集約化に資する区画整理や農業水利施設等の基盤整備を推進します。

<主な実施事業>

畑地帯総合整備事業
経営体育成基盤整備事業
農地環境整備事業
基盤整備促進事業
(農地耕作条件改善事業) 等



3 既存土地改良施設の長寿命化の推進

農業水利施設等の長寿命化によるライフサイクルコストの低減を図るため、機能診断を行い、効果的な保全対策を推進します。

<主な実施事業>

かんがい排水事業
国営施設機能保全事業 等



県が重点的に推進する農業農村整備

県の農業振興基本指針 「新・やまなし農業大綱」

- 1 戦略的なマーケティングによる販路拡大
- 2 生産の効率化、高付加化の促進
- 3 高品質化・低コスト化で産地を強化
- 4 耕作放棄地を減らし農地を有効活用
- 5 成長産業化を支える担い手の育成
- 6 観光など様々な分野との連携により農村地域の活性化
- 7 新たな課題

4 農村地域の防災・減災対策の推進

県産農産物の高品質化や生産性の向上、経営の安定化を図るため、ほ場整備等の農業生産基盤整備を推進するとともに、担い手のニーズに合った基盤整備等を推進します。

<主な実施事業>

ため池等整備事業
農村災害対策整備事業
中山間地域農地防災事業
(農村地域防災減災事業) 等



5 効果的・計画的な鳥獣害防止対策の推進

野生鳥獣による農作物への被害を防止するため、市町村に設置されている鳥獣被害防止協議会や関係機関と連携し、侵入防止施設の整備を推進します。

<主な実施事業>

中山間地域総合整備事業
農地環境整備事業
畑地帯総合整備事業
鳥獣害防除事業 等



6 魅力ある農村づくりの推進

地域住民活動や地域間交流拠点等の整備を支援し、農村における定住・地域間交流を促進します。

<主な実施事業>

中山間ふるさと水と土保全対策事業
山村振興等農林漁業対策事業
(農山漁村振興交付金：旧プロ交)



■平成28年度人事

山梨県農政部人事

平成28年4月1日付、県職員人事異動が発令されました。
農政部及び、各農務事務所の幹部職員は次のとおりです。

農政部

部 長	大熊 規義
理 事	西野 孝
次 長	岡 雄二
技 監	渡邊 祥司
技 監	相川 勝六
企画調整主幹	武井 和人
部付主幹	渡邊 雅人
部付主幹	塩入 栄
部付主幹	八巻 武正
部付主幹（土地連）	山根 正人
部付主幹（農業振興公社）	千野 浩二

農政総務課

課 長	丹澤 尚人
総括課長補佐	西川 秀之
農政企画監	斉藤 修
指導検査監	今井 晴彦
課長補佐	加藤 栄佐
課長補佐	柴崎 一彦
課長補佐	依田 陸美
課長補佐	上田 浩二

農村振興課

課 長	清水 一也
課長補佐	斉藤 茂
課長補佐	田辺 善雄
課長補佐	斉藤 和司
課長補佐	佐藤 勝也
課長補佐	小野 健一

耕地課

課 長	福嶋 一郎
総括課長補佐	小野 訓正
技術指導監	古屋 泉
換地管理員	向山 直樹
課長補佐	茂手木 知
課長補佐	浅川 一輝
課長補佐	丸山 誠

中北農務事務所

所 長	田中 道彦
次長（事）	加賀美達也
次長（技）	鈴木 信男
担い手対策幹	馬場 信吾
農村整備振興幹	寺島 伸司
工事施工管理幹	小倉 隆宏
普及指導スタッフ	三宅ひろみ
普及指導スタッフ	横山 紅子
地域農政課長	細川 洋一
農業農村支援課長	網倉 亨
農業基盤第一課長	古屋 勝
農業基盤第二課長	山本 林仁

峡東農務事務所

所 長	土屋 重文
次長（事）	榎原 茂
次長（技）	山田 英樹
担い手対策幹	鈴木 幾雄
農村整備振興幹	岩間 浩
工事施工管理幹	小澤 正男
普及指導スタッフ	三宅 正則
地域農政課長	保延 宏治
農業農村支援課長	功刀 徹
農業基盤第一課長	山本 裕之
農業基盤第二課長	青柳 謹吾

峡南農務事務所

所 長	武井 和仁
次長（事）	穂坂 芳朗
次長（農村整備振興幹事務取扱）	興水 秀之
担い手対策幹	向山 一弘
工事施工管理幹（農業基盤課長事務取扱）	望月 修
普及指導スタッフ	伴野 正明
地域農政課長	原田 武
農業農村支援課長	野田 浩紀

富士・東部農務事務所

所 長	荻原 修
次長（事）	刑部 永保
次長（技）（担い手対策幹兼務）	塩崎 欽哉
農村整備振興幹	渡辺 茂
工事施工管理幹（農業基盤課長事務取扱）	藤巻 慎司
普及指導スタッフ	穴山 保宏
地域農政課長	横小路 稔
農業農村支援課長	熊王 広之

退職者

平成27年度をもちまして退職される方々です。

《農務部関係》

農政部 農村振興課課長	伏見 勝
出納局 工事検査課工事検査監	山崎 剣介
中北地域県民センター 工事検査幹	水地 英之

《本会関係》

事業部第二部長	宮川 三男
事業部事業課推進幹	根岸 利文

本会人事

平成28年4月1日付本会職員の人事を次のとおり発令しました。

事業部長	竹川 史人
総務部次長（兼検査監）	深澤 雅志
事業部次長 （兼事業課第一課長）	清水 浩樹
指導監（兼事業課第二課長）	堀口 徹
事業部事業課第三課長	清水 道浩
調査計画担当リーダー（課長補佐）	津久井 巧
設計積算担当副主査	河野 英司
事業部 専門員	根岸 利文

全国土地改良事業団体連合会 第58回通常総会

全国土地改良事業団体連合会（全国水土里ネット）の第58回通常総会が去る3月25日（金）東京都千代田区平河町・都市センターホテルにおいて、各都道府県の水土里ネット会員出席のもと開催されました。

二階俊博全土連会長は冒頭の挨拶の中で、「平成27年度補正予算、平成28年度当初予算の要請活動に積極的に取り組んでいただきありがとうございました。両方を併せて1222億円の増額が達成できました。皆様からいただいた力強いご支援に対し、心からお礼申し上げる。今後は平成29年度予算の増額を目指し、尽力していきたいと思っている」と述べ関係者が更に団結するように訴えました。

議長に、及川正和・岩手県土連会長を選出し議事進行され、平成26年度収入支出決算、平成27年度収入支出補正予算、平成28年度事業計画及び収入支出予算等全11議案を全会一致で承認可決しました。

決議案では、水土里ネットの責務遂行に当たったの課題を提示し国が示した農政の方向を踏まえ、農業農村整備を推進していくことを、全会一致で決議として採択しました。



二階俊博会長挨拶

全国水土里ネット表彰式

全国水土里ネット表彰式が、３月２５日第５８回全土連通常総会終了後、東京都シェーンバッハ・サポーで開催され「第５７回全国土地改良功労者表彰」「平成２６年度農業農村整備優良地区コンクール表彰」「２１世紀土地改良区創造運動表彰」が行われました。

表彰式には農林水産省から、森山裕農林水産大臣、末松広行農村振興局長、室本隆司同局次長ら幹部また、全国土地改良事業団体連合会会長会議進藤金日子顧問が出席する中開催されました。

全国水土里ネット二階俊博会長は挨拶の中で、「表彰関係者の功労、栄誉を称え、受賞者の皆様には、今後ともそれぞれの立場で、土地改良事業の推進と地域の振興にご尽力賜りますようお願いしたい」と賛辞を送りました。

来賓挨拶として森山裕農水大臣が、「農業農村整備事業は、国土強靱化、地方創生といった現下の政策課題に取り組む上でも重要な役割を有している。農業農村整備事業を一層推進し、強くて豊かな活力ある農山漁村の実現に全力で取り組んでいく」と述べました。

また、進藤顧問は挨拶で「地域の中で農地と水という貴重な地域資源を維持するために土地改良事業は必要不可欠であり、その効果を丁寧に国民の皆様様に説明し、ご理解いただくことが重要である」と訴えました。



全土連二階俊博会長



全土連会長会議進藤顧問



森山裕農林水産大臣

山梨県関係の団体、個人の受賞者は次の方々です。

第57回全国土地改良功劳者

□団体の部

《銀章表彰》

穂坂・双葉畑かん土地改良区（横森宏尹理事長）

三ッ沢土地改良区（近藤友文理事長）

□個人の部

楯無堰土地改良区 前事務員

広瀬早苗

山梨県土地改良事業団体連合会 事業部第二部長

宮川三男

山梨県土地改良事業団体連合会 事業部推進幹

根岸利文



県内表彰者

右 山梨土連 宮川三男氏

中 穂坂・双葉畑かん理事長 横森宏尹氏

左 山梨土連 根岸利文氏

作品大募集!



テーマ
「活気に満ちあふれた農山村」



過去入賞作品より

応募締切

平成28年8月31日(水)

主催 山梨県

後援(順不同)

- (株)山梨放送
- (株)テレビ山梨
- (株)山梨日日新聞社
- 山梨県土地改良事業団体連合会
- (株)山梨フジカラー
- 山梨県カメラ商組合

〈お問い合わせ先・応募先〉
 〒400-8501
 甲府市丸の内1-6-1
 山梨県農政部耕地課内
 写真コンクール事務局
 TEL 055-223-1627



山梨県農政課
農林部

ごあいさつ

本年度も会員各位のご支援・ご協力をよろしくお願いします。

山梨県土地改良事業団体連合会
(水土里ネットやまなし)

会 長 北杜市長
副 会 長 甲斐市長
副 会 長 甲州市長

白 倉 政 司
保 坂 武 篤
田 辺 篤

理 事 市川三郷町長
理 事 丹波山村長
理 事 身延町長

内 藤 久 夫
望 月 仁 司
久 保 眞 一
岡 部 政 幸

専務理事 学識経験者
理 事 中央市長
理 事 笛吹市長
理 事 都留市長
理 事 笛吹川沿岸土地改良区理事長

加 藤 啓
田 中 久 雄
倉 嶋 清 次
堀 内 富 久
望 月 清 賢

総括監事 徳島堰土地改良区理事長
監 事 上野原土地改良区理事長
監 事 楯無堰土地改良区理事長

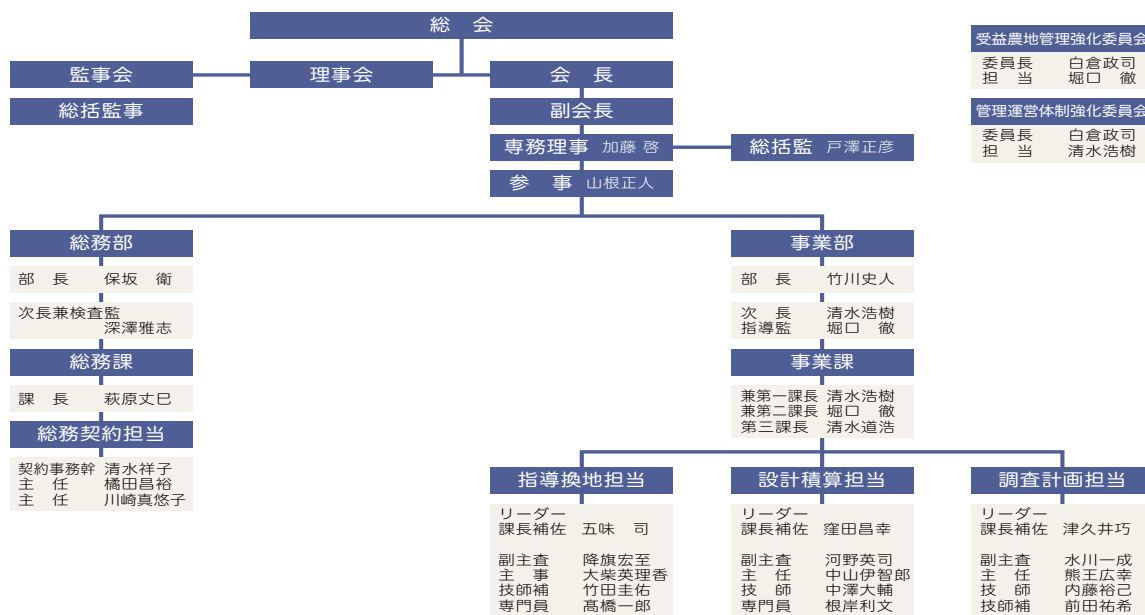
野 田 正 資
奈 良 明 彦
今 村 正 城

総 括 監 事
参 事

戸 澤 正 彦
山 根 正 人
他 職 員 一 同

山梨県土地改良事業団体連合会機構図

平成 28 年 4 月 1 日 現在



第39回全国土地改良大会 石川大会の案内

平成28年度の全国大会は、石川県で
開催されます。

日 時：平成28年10月25日(火)
午後1時より 式典

場 所：金沢市
いしかわ総合スポーツセンター
「メインアリーナ」

現地視察：平成28年10月26日(水)～



農業農村整備事業の

調査設計・測量・換地確定測量業務
農業集落排水事業・水土里情報関連
を最新の技術で応える

山梨県土地改良事業団体連合会
土地改良相談室

建設コンサル登録：農業土木部門



山梨の土地改良 VOL.164

発行：平成 28 年 6 月

発行者：山梨県土地改良事業団体連合会
〒400-8587 山梨県甲府市蓬沢1丁目15番35号 自治会館5階
TEL 055-235-3653 FAX 055-228-8174
URL：http://www.yamanashi-doren.or.jp
E-mail：syomu@yamanashi-doren.or.jp

